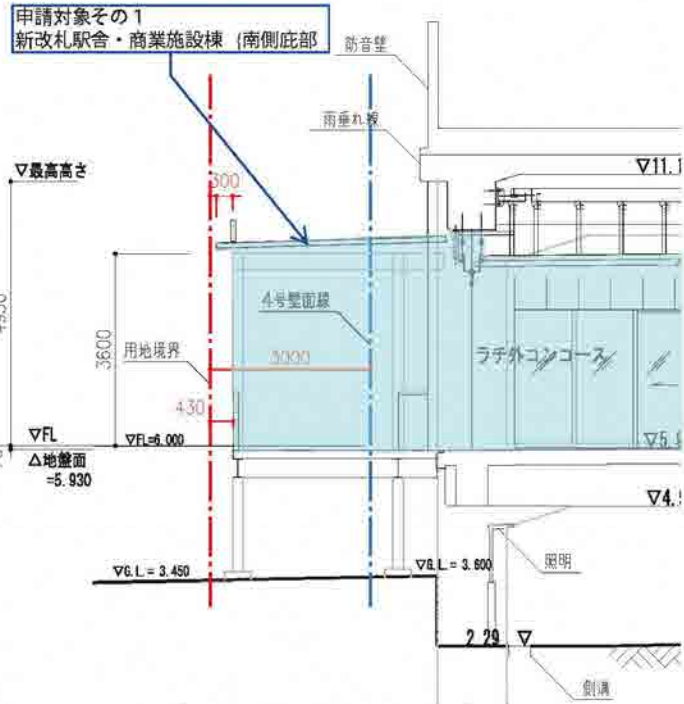
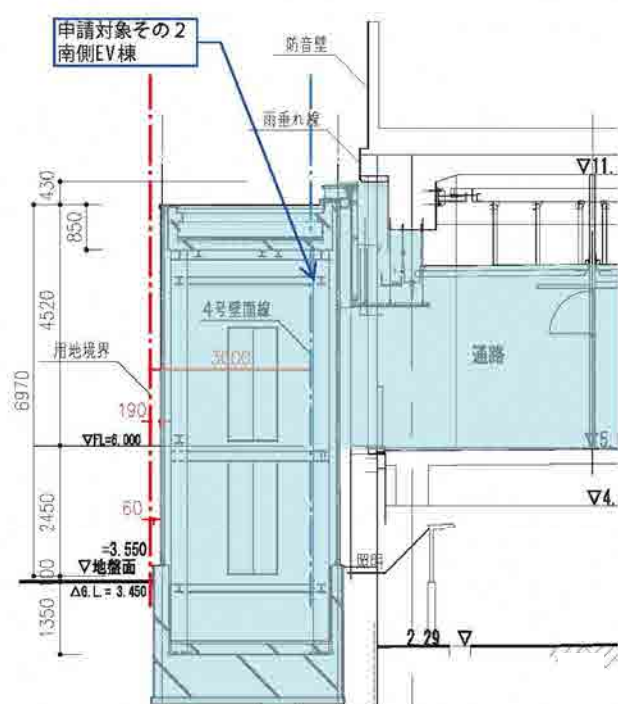


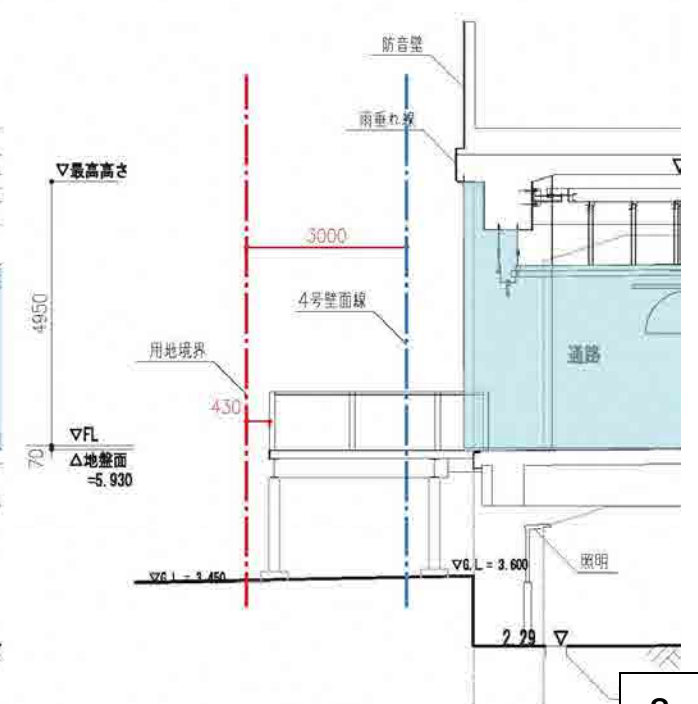
【 南側平面図 S=1:400 】



【 A部断面図 S=1:100 】



【 B部断面図 S=1:100 】



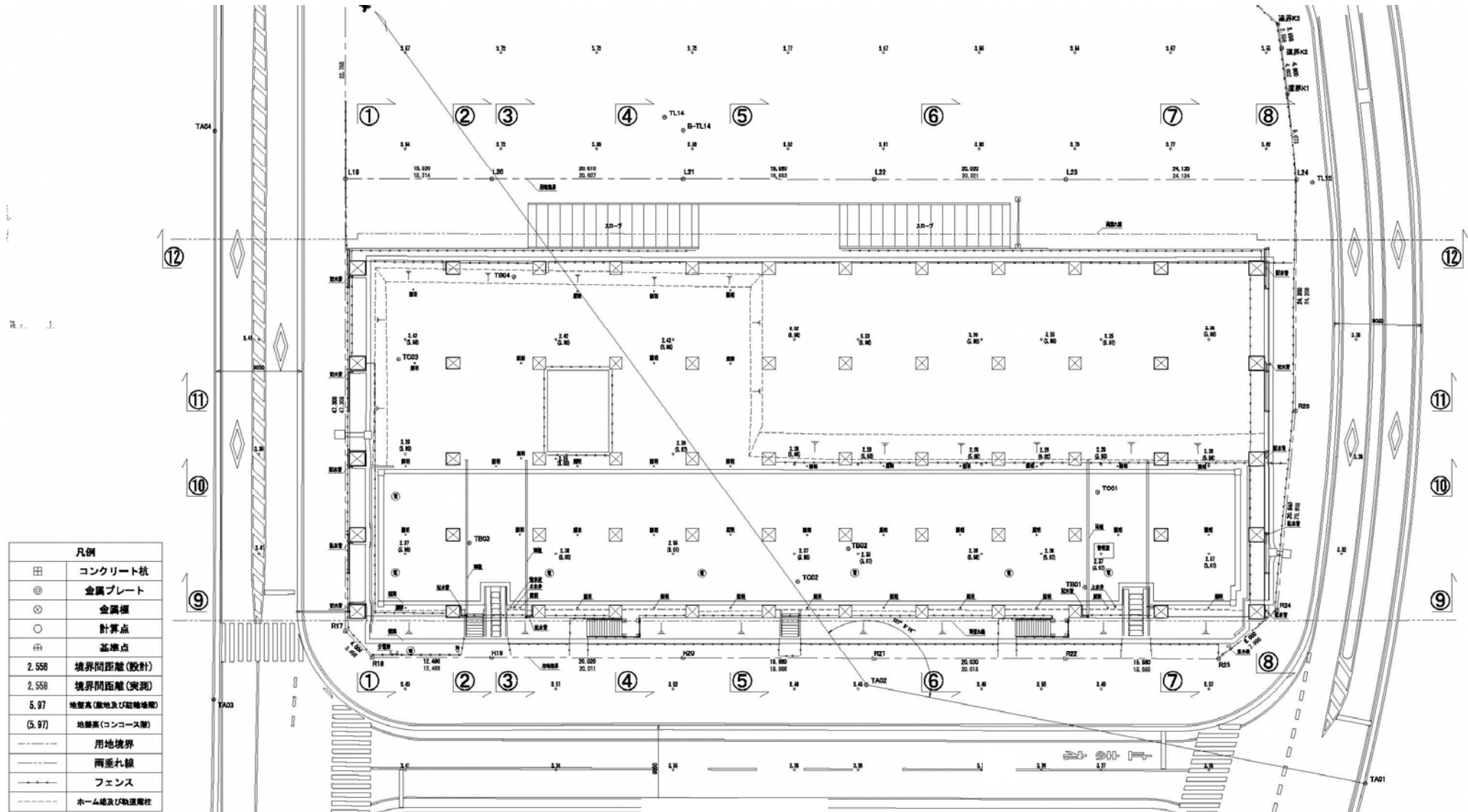
【 C部断面図 S=1:100 】





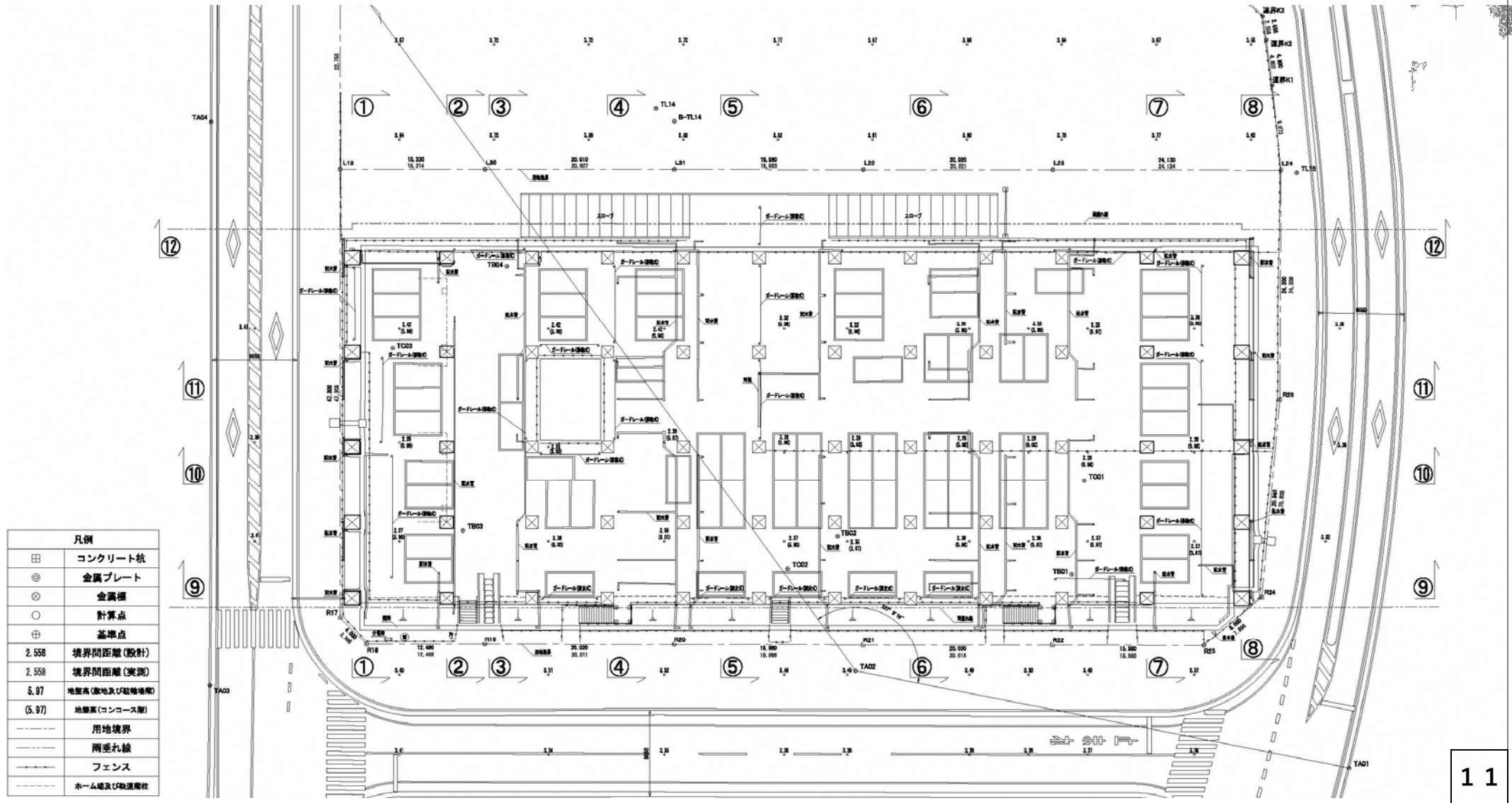


海浜幕張駅高架下(駐輪場階) 現況平面図

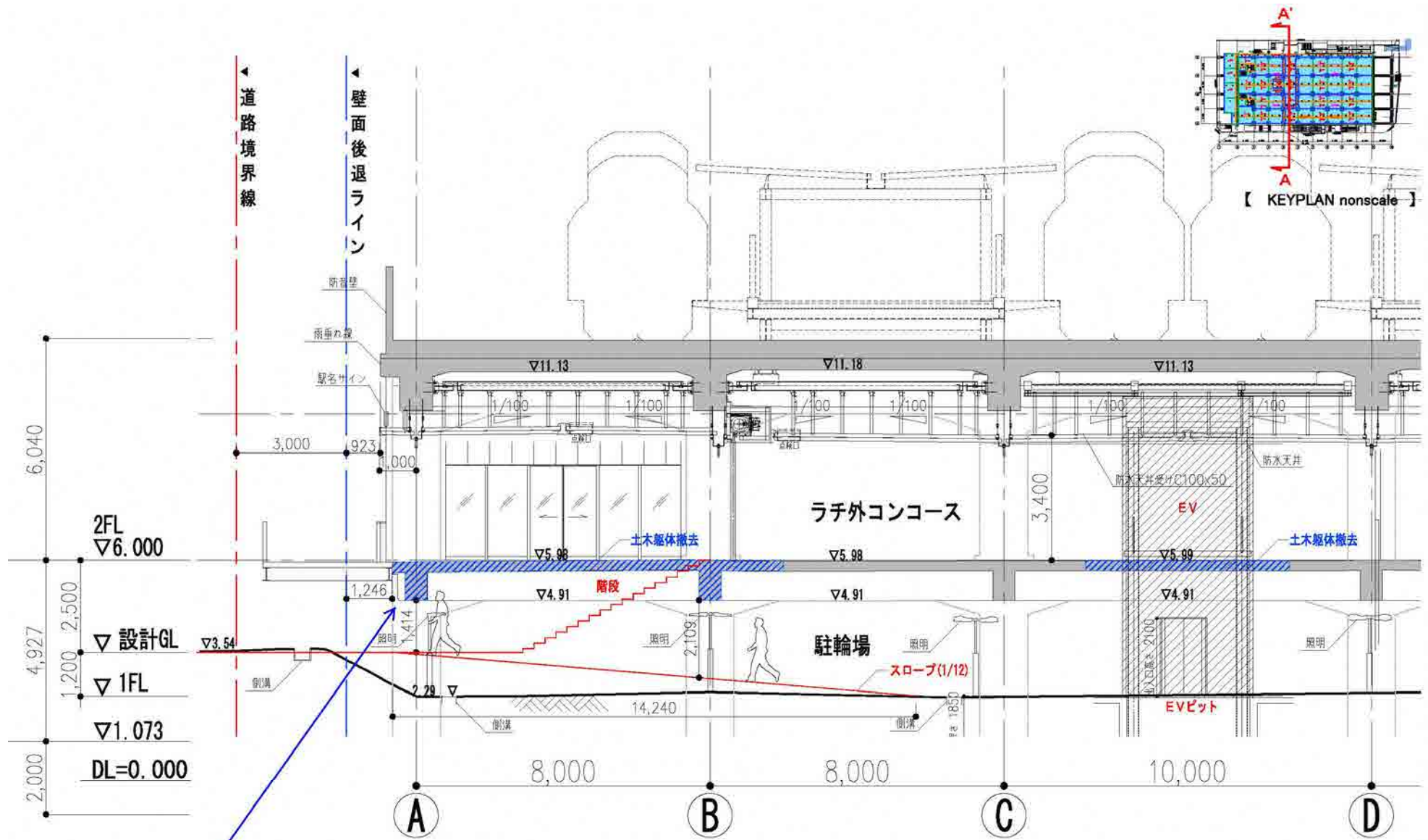




海浜幕張駅高架下(コンコース階) 現況平面図





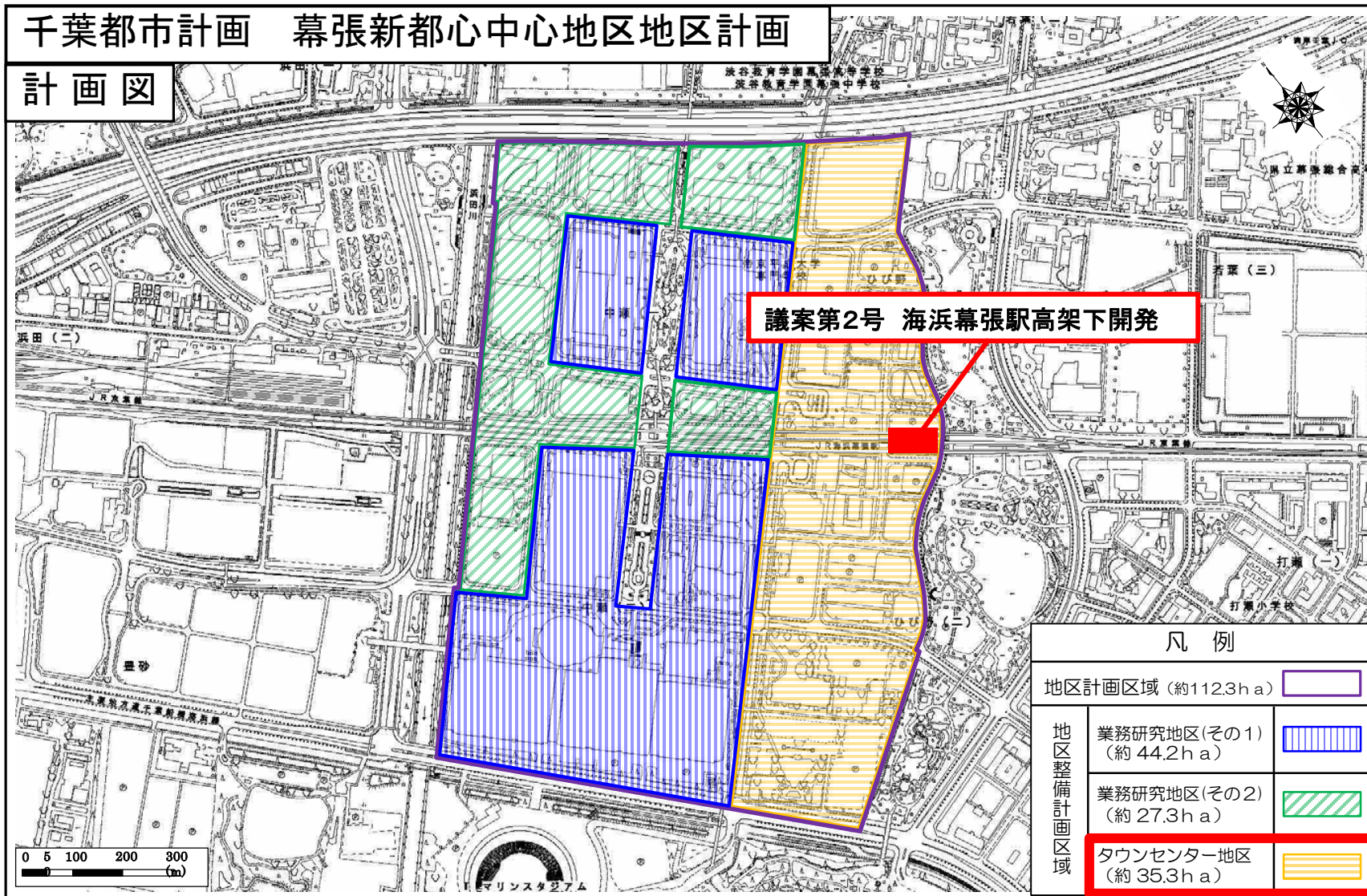


階段、スロープ、EVを高架橋内で計画しようとした場合、  
既存の高架橋躯体のメインフレームの撤去が必要となり、  
鉄道高架橋の構造計画上、梁の撤去は不可能である。

【 A-A' 断面図 S=1:150 】

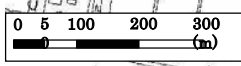
千葉都市計画 幕張新都心中心地区地区計画

計画図



議案第2号 海浜幕張駅高架下開発

凡例	
地区計画区域 (約112.3ha)	
地区整備計画区域	
業務研究地区(その1) (約44.2ha)	
業務研究地区(その2) (約27.3ha)	
タウンセンター地区 (約35.3ha)	





## 幕張新都心中心地区地区計画（抜粋）

### （壁面の位置の制限）

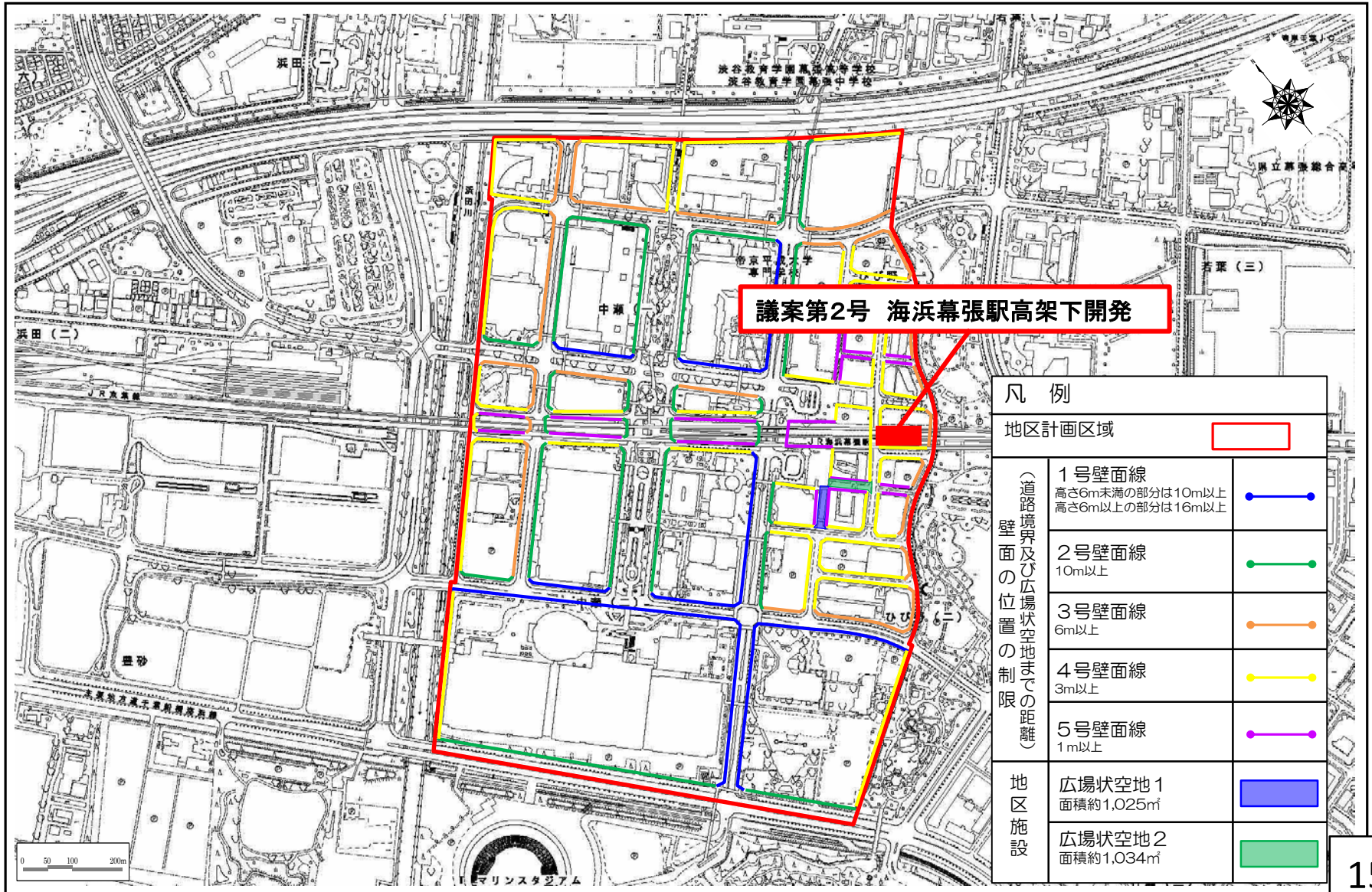
第8条 別表第5（あ）欄に掲げる区域（当該区域に係る地区整備計画において、当該区域を2以上の地区に区分している場合にあっては、同表（い）欄に掲げる地区）内の建築物の壁又はこれに代わる柱は、それぞれ同表（う）欄に掲げる壁面の位置の制限に反して建築してはならない。

別表第4

（あ）	（い）	（う）	（え）
区域の名称	地区の名称	壁面の位置の制限	適用が除外される建築物又は建築物の部分
幕張新都心 中心地区地区 整備計画区域	業務研究地区 （その1）	（1）建築物の外壁又はこれに代わる柱の面は、 計画図に示す壁面の位置の制限を超えてはならない。 （2）建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から 隣地境界線までの距離は、3メートル以上とする。	（1）高架の公共用歩廊 （2）地盤面下のもの （3）建築物の管理上最小限 必要な付帯施設
	業務研究地区 （その2）		
	タウンセンター 地区	建築物の外壁又はこれに代わる柱の面は、計画 図に示す壁面の位置の制限を超えてはならない。	

### （公益上必要な建築物の特例）

第12条 市長がこの条例の規定の適用に関して、公益上必要な建築物で用途上又は構造上やむを得ないと認めて許可したもの及びその敷地については、その許可の範囲内において、当該規定は適用しない。



議案第2号 海浜幕張駅高架下開発

凡例		
地区計画区域 <span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>		
壁面 の位置 の制限	1号壁面線 高さ6m未満の部分は10m以上 高さ6m以上の部分は16m以上	<span style="color: blue;">—●—</span>
	2号壁面線 10m以上	<span style="color: green;">—●—</span>
	3号壁面線 6m以上	<span style="color: orange;">—●—</span>
	4号壁面線 3m以上	<span style="color: yellow;">—●—</span>
	5号壁面線 1m以上	<span style="color: purple;">—●—</span>
地区施設	広場状空地1 面積約1,025㎡	<span style="background-color: blue; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>
	広場状空地2 面積約1,034㎡	<span style="background-color: green; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>